

シルバーカレッジ新聞

vol.4



● 昔を思い出して脳を活性化!

八月二日に、同朋大学社会福祉学部教授の下山久之氏による「認知症ケアと回想法」の授業を行いました。

しもやまひさゆき

回想法とは、「過去を振り返ったり楽しんだりすること

とを、生きる力に活かして

いく援助技法」です。

授業では、まず認知症に

関する知識を深めるための

講義が行われ、熱心にメモ

を取る受講生の姿がみられ

ました。



(真剣に講義に臨む学生)



(回想法の実践)

授業の後半では、回想法の実践として学生同士で子どもの頃の話や若かった頃の話をし、昔を懐かしんだり、笑い合ったりしていました。授業後は、「話をするだけでなく、相手の話を聴くことの大切さを学びました。」との感想があり、これからの生活に役立つ授業となりました。

● 慣れないタブレット操作に悪戦苦闘！

八月二三日から九月六日に、おがわうつき 小川現樹氏による「ゼロから始めるタブレット」の授業を全三回行いました。今までタブレットに触れたことがない学生がほとんどでしたが、興味をもって意欲的に授業に取り組んでいました。

三回目の授業が終わるころには、皆さんとても疲れた様子が見られましたが、「新しいことに挑戦できて楽しかったです。」との声がありました。



(タブレットの操作)

● 子どもたちを地域で育てる！

九月二十日に、津島市教育委員会のすぎむらあきひと 相村明人氏による「思いをつなぐ子どもたちへできることとは」の授業を行いました。

授業の前半は、子どもたちの今とこれからについて講義を聞き、学校と地域の連携、支援、協力体制の必要性について学びました。

授業の後半ではグループワークを行い、あま市の現状と、抱える問題点を洗い出しながら、解決に向けて自分たちができるのかどのような活動ができるのか



(グループワーク)

を皆で考えました。

今回の授業を受けて、「ボランティア等の募集があれば、まず参加してみようと思います。」「近くの小中学生に目を向けていたいと思います。」など、地域の繋がり的重要性を感じていただいたようです。

● 口腔ケアのある毎日を目指して!

九月二七日に、わたなべつよしのただ歯科院長の渡邊剛氏、ふなはしみちよ歯科衛生士の舟橋美千代氏による「正しい口腔ケアでお口と

全身を健康に！」の授業を行いました。



(口内セルフチェック)

口腔内を清潔・健康に保ち、いつまでも「食べる」と「話すこと」が楽しくできることは、心のゆとりを生み出します。授業では、お口の健康状態を確認できる口内セルフチェックを実践したり、義歯の正しい手入れの仕方を学んだりしました。また、歌に合わせた発声練習で、正しい唇や舌の動かし方を学びました。

学生からは、「自分で毎日健康チェックをするようになります。」「唇、舌、唾液の機能について学ぶことができ、今後役に立つ授業でした。」などの感想があり、大変有意義な授業となったようです。